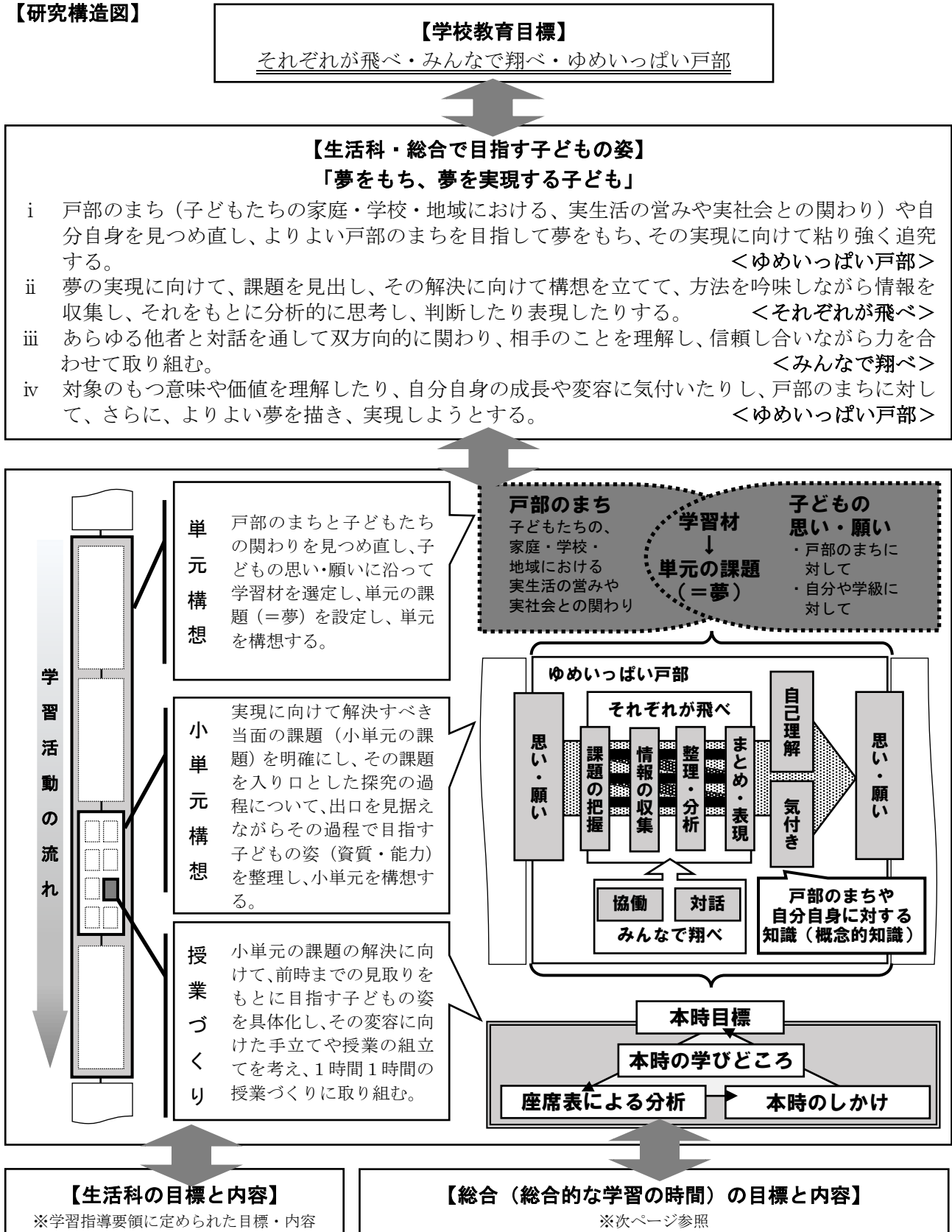


## II 研究内容～研究主題を具現化するために～

研究主題に示した、「夢をもち、夢を実現する子ども」の具現化に向けて、「単元構想・小単元構想・授業づくり」の三つの柱で研究に取り組む。そのプロセスを通して、子どもの夢の実現を目指し、目指す子どもの姿に迫っていく。研究主題を具現化するための研究内容は、実践に反映させてこそ意味のあるものになる。その考えに立ち、研究内容については、実践の拠り所となる学習指導案の項目に沿って、整理していく。

【研究構造図】



### 【本校の総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、戸部のまち（子どもたちの家庭・学校・地域における、実生活の営みや実社会との関わり）にある「ひと」「もの」「こと」に関わる学習を通して、戸部のまちに対して、よりよい社会や生活を目指して思い・願い（＝夢）をもち、その実現に向けて考え、行動し続けることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題を解決するために必要な知識及び技能を身に付けるとともに、戸部のまちの「もの」「こと」にはそれぞれ固有のよさがあることや、それが他の様々な「もの」「こと」との関係や、それを支える「ひと」の行動によって成り立っていることに気づき、戸部のまちのよさについて理解を深める。
- (2) 戸部のまちに対する思い・願いの実現に向けて、見通しをもって課題を把握したり、その目的を自覚しながら方法を吟味して情報を収集したり、得た情報をもとに課題に沿って整理・分析し、判断したり、目的や相手を意識しながら表現したりする力を身に付ける。
- (3) 戸部のまちに対して思い・願い（＝夢）をもち、その実現に向けて粘り強く、あらゆる他者と対話を通して双方向的に関わり、相手のことを理解し、信頼し合いながら力を合わせて取り組もうとする態度や、対象のもつ意味や価値を理解したり、自分自身の成長や変容に気付いたりし、戸部のまちに対して、さらに、よりよい夢を描き、実現しようとする態度を養う。

### 【本校の総合的な学習の時間の内容】

学年	探究課題	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
中学年	戸部のまちにある身近で具体的な「もの」「こと」のもつ意味や価値と、その対象を通して関わる戸部のまちの「ひと」の考えや行動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの「もの」「こと」には面白さや楽しさ、豊かさ等、それぞれの対象ならではの特徴があるということ。</li> <li style="text-align: center;">＜固有性…ならでは＞</li> <li>・身の回りの「もの」「こと」の特徴や現在の状況は、他の「もの」「こと」とのつながりの中で形成されたり、存在したりしているということ。</li> <li style="text-align: center;">＜関係性…つながり＞</li> <li>・身の回りには、対象の魅力を積極的に楽しんだり、守ったり、伝えたり、広めたりするための「ひと」の知恵や技、取組がある、ということ。</li> <li style="text-align: center;">＜行動性…いとなみ＞</li> <li>・戸部のまちには自分たちの生活や社会を楽しく豊かなものにするための「ひと」「もの」「こと」があふれている、ということ。</li> <li style="text-align: center;">＜地域性…戸部のまち＞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の実現に向けて、今、何をすべきかを明確にもち、またそのために必要なものを準備したり、取組の順番を考えたりする。</li> <li style="text-align: center;">＜課題の把握＞</li> <li>・課題に沿って他者と関わったり、試行錯誤したり方法を工夫したりして情報を集める。</li> <li style="text-align: center;">＜情報の収集＞</li> <li>・比較したり、分類したり、関連付けたりしながら情報を整理し、事実を捉える。</li> <li style="text-align: center;">＜整理・分析＞</li> <li>・課題に沿って、理由付けしながら、評価、選択、順位付け等を行い、自分の考えをもつ。また、自分の伝えたいことを明確にし、方法を工夫しながら伝える。</li> <li style="text-align: center;">＜まとめ・表現＞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達存在を意識し、一緒に活動するよさを大切にしながら、課題の解決に向けて協力して活動する。</li> <li style="text-align: center;">＜協働＞</li> <li>・相手が伝えようとしていることを意識しながら聴き、自分の意見と比べよさや違う点を見つけたり、つなげたりしようとする。</li> <li style="text-align: center;">＜対話＞</li> <li>・課題解決の過程を通してできるようになったことや分かったことを見つめ直し、新たな解決の仕方や対象の捉え方が身に付いたことに気づき、自信をもったり、自分らしさを大切にしようとする。</li> <li style="text-align: center;">＜自己理解＞</li> <li>・生活経験や学習経験を見つめ直し、興味・関心のあることから、自分たちの力で成し遂げたい目的（＝夢）をもち、その実現に向けて粘り強く取り組もうとする。</li> <li style="text-align: center;">＜思い・願い＞</li> </ul>
高学年	戸部のまちの「ひと」との関わりを通して見つめ直す、身近な「もの」「こと」のもつ意義や問題と、その発展や解決に向けた行動・取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会にある「もの」「こと」には、魅力や問題等、それぞれの対象ならではの特徴があるということ。</li> <li style="text-align: center;">＜固有性…ならでは＞</li> <li>・地域社会にある「もの」「こと」の特徴や現在の状況は、他の「もの」「こと」と多岐に関わり合う中で、形成されたり、存在したりしているということ。</li> <li style="text-align: center;">＜関係性…つながり＞</li> <li>・地域社会には、対象の魅力を保守、維持、発信したり、不安・問題・困難を解決、解消したりするための「ひと」の行動や取組がある、ということ。</li> <li style="text-align: center;">＜行動性…いとなみ＞</li> <li>・戸部のまちには人々が関わり合いながら安心して豊かに暮らすことができるようにするための「ひと」「もの」「こと」があふれている、ということ。</li> <li style="text-align: center;">＜地域性…戸部のまち＞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の実現に向けて、見通しをもって解決すべき課題を設定し、予想や仮説を立て、必要な「もの」「こと」を具体的に順序立てて構想を立てる。</li> <li style="text-align: center;">＜課題の把握＞</li> <li>・課題に沿って方法を吟味し、工夫し、他者と関わったり、体験したり、調査したりして情報を集める。</li> <li style="text-align: center;">＜情報の収集＞</li> <li>・比較したり、分類したり、関連付けたりしながら情報を整理したり、課題に沿って判断するために必要なことを焦点化したり、捉え直したりする。</li> <li style="text-align: center;">＜整理・分析＞</li> <li>・課題に沿って、焦点化された事柄について、理由付けしながら、評価、選択、順位付けを行ったり、要約、構造化したりする。また、自分の意見や立場を、根拠を明確にしながら、相手や目的に沿って、効果的な方法を工夫しながら伝える。</li> <li style="text-align: center;">＜まとめ・表現＞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と互いに信頼し合いながら、課題の解決に向けて役割を分担したり、支え合ったりして協力して活動する。</li> <li style="text-align: center;">＜協働＞</li> <li>・相手の立場や意図を意識し、自分の考えと比較しながら、批判的に聴いたり、共感できる部分を見つけたりして、一緒に判断したり結論を出したりしようとする。</li> <li style="text-align: center;">＜対話＞</li> <li>・課題解決の過程を通してできるようになったことや分かったことを見つめ直し、解決の仕方や対象の捉え方が変化・成長したことを自覚し、自信をもったり、自分らしさを大切にしようとする。</li> <li style="text-align: center;">＜自己理解＞</li> <li>・生活経験や学習経験、実社会の問題等を見つめ直し、戸部のまちにとって意味や価値があると考えられる目的（＝夢）を見出し、その実現に向けて粘り強く取り組もうとする。</li> <li style="text-align: center;">＜思い・願い＞</li> </ul>

# 1 単元構想

本校では、学級ごとに学習材を選定し、その学習材との関わりを通して実現を目指す単元の課題(=夢)を整理し、学級ごとに単元を立ち上げる、いわゆる「学級総合」に取り組んでいる。そこで大切にしたいことは、「子どもありき」の考えに立ち、子ども自身が主体的に学習材を選定し、その学習材との関わりを通して実現を目指す単元の課題(=夢)を練り上げることである。子どもの「自分たちで決めた総合」という誇りと責任が、その後の学習活動の大きな原動力となり、主体的な学びを生み出していく。そして、「実現できた!」という原体験が、次の学習活動へとつながり、その蓄積が、研究主題に掲げた「夢をもち、夢を実現する子ども」につながっていくと考えている。

単元構想は、①学習材(何で学ぶか)、②単元の課題(何のために活動するか)、③単元で育てたい資質・能力(何を学ぶか、何ができるようになるか)、④単元の学習活動の流れ(どのように学ぶか)、以上四つの視点について明確にすることが重要である。

## (1) 子どもの思いと教師の願い

子どもの思い・願いに沿って学習材の選定及び課題の設定を行うために、学習材の選定に当たってはフィールドワークや共通体験等を効果的に取り入れることも考えられるが、多くの場合、最終的な決定は話し合いによって行われる。しかし、やみくもに話し合わせていても価値のある学習材に絞られてはいかない。また、せっかくのよい発想が埋没してしまうことも考えられる。そこで、まずは総合で目指す自分や学級、目指す総合像について、子ども自身の言葉で整理し、学習材を判断するための条件・視点として整理する。その条件・視点に沿って、学習材を発想したり、判断したりする。

子どもの思いが見えてきたところで、教師自身も学習材の分析を行い、学習活動や具体的な対象、育てたい資質・能力等の視点から、拡散的に可能性を探り、目の前の子どもにとってどのような意味や価値があるのか、また、その実態に合っているかを判断する。

## (2) 学習材

学習材とは、子どもの学習活動の中心となる「もの」「こと」である。学習材が決定したところで、教師は単元を構想するために、次の二つの視点から学習材について、さらに深く分析を行う。

### ・本単元の探究課題(総合)

…単元ごとに具体化した探究課題。子どもが、単元全体を通して、その意味や価値について探究的な学習に取り組む中で理解を深め、概念的知識を形成していく対象。主として「こと」。

※生活科においても、9つの内容をもとに、一人一人の子どもに、具体的な対象との関わりを通してどんなことについて考えてほしいのか、気付いてほしいのか、ということ意識し、その中心を、教師の単元に対する意図として明確にすることを大事にしたい。

・学習対象…探究の過程で関わる具体的な「ひと」「もの」「こと」等。

・学習事項…探究の過程で子どもに気付かせたい知識(概念的知識)や、それらが関連付いて形成される、単元レベルで具体化した探究課題に対応する戸部のまちに対する概念的知識。生活科は、9つの内容をもとに整理する。

## (3) 単元目標

①単元を通して実現を目指す学習課題(=夢)と、そのための中心となる学習活動、②その過程で育てたい資質・能力(特に、学びに向かう力・人間性等)の、二つの視点から整理する。特に総合においては、1年間70時間という長期間にわたる単元となる。その中で、その時々の子どもの思い・願いを重視するあまり、「活動あって学びなし」という状況に陥らないようにするためにも、活動の方向性と、そこで目指す子どもの姿を、単元を貫く柱として明確にもっておくことが重要であると考える。

## (4) 単元で育てたい資質・能力

生活科は、9つの内容から「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の三つの視点で、総合は、本校で定める内容をもとに、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの視点で整理する。

## (5) 単元の学習活動の流れ(生活科:本単元の位置付け)

学習材について分析する中で見えてきた期待する変容が見られる場面(学びどころ)を中心としながら、生活科は各単元、総合は各小単元どうしが、子ども自身の活動や思考の流れに沿って自然で、意味的に無理のないものになっているかを意識して、学習活動の流れを整理する。単元・小単元の課題と、その単元・小単元の出口の子どもの姿が意味的につながっているか、ということについても注意して整理する。

- ・小単元の学びどころ…子どもの対象に対する捉えが大きく変容する場面。自分自身や、戸部のまちの「ひと」「もの」「こと」に対する、それまでの対象の捉え方が、学習活動を通して出会う情報や気付きによって、置き換わったり、関連付いたりして深まり、理解がより確かなものになったり、それをもとに概念が形成されたりする場面。※生活科は、指導案(7)「単元の学習活動の流れ」に位置付ける
- ・関連する教科等…ここでは、他の教科等の各単元と内容のレベルで関連が図れるものについてのみ精選して記述する。関係(導入・習得・発展・活用)については、矢印の向きで示す。教科等の時間を生活科や総合の単元に取り込む(合科的な扱いをする)場合には、単元名を一致させ、時間数を明記する。

### 【単元構想のチェックポイント】

- 戸部のまちに対する子どもの思い・願いが、その背景まで含めて捉えられているか。
- 総合においては、総合で目指したい自分や学級について、子どもの言葉で整理されているか。
- 単元を通して実現を目指す単元の課題(=夢)が、子どもの言葉で、ゴールのイメージがもてる形で明確になっているか。
- 子どもにとって身近で繰り返し関わりができる具体的な対象が考えられているか。
- 学習材に対して造詣の深い、関わりが期待できる「ひと」が考えられているか。
- 子どもにとって学ぶべき意味・価値のある内容が分析されているか。
- 習得した気付きが関連付いたり、概念的知識が形成されたりするような、新たな対象に対する捉え、生き方に迫るような変容が見られる「学びどころ」が分析されているか。
- 各小単元(生活科は単元)の学習課題が、意味的につながりのある、子どもにとって切実なものになっているか。
- 生活科では、子どもに身近な地域の固有のものが学習対象として分析されているか。
- 期待する子どもの変容が、迫りたい価値や次の課題とのつながりを意識して、具体的に想定されているか。

**戸部のまちで世界の人とつながろう** 5年2組 30名 吉川 蓮子

**1 単元の構想**

(1) 子どもの思いと教師の願い

今までの生活科や総合を振り返り改めてこれまでに身に付けた力を話し合い、今年総合では大きな夢や目標に向かって、よりよくなる工夫や考えをもつて考えたりして挑戦していきたいという思いを学級共有し、それを、今年をまた今年を以上と大切にして「ひと」「もの」「こと」(戸部のまち)と確認した。社会科や世界の国々の広がりや大きさを調べた活動から興味をもっていた「世界」をテーマに、まちとたくさん関わりあうことができ、先輩たちが総合で取り組んだことのない活動内容を考えた。戸部のまちにある様々な国の飲食店を出発点として、「世界の国々についている文化を知り、尊敬したい」という思いをもち、自分たちの国々と仲良く関わりあうという思いをもつようになっている。

本単元には外国についての見聞はあふれる。日常的な価値観とのつながりが少ないため、日本とは文化や考え方が全然違う、遠くに住んでいる子どもも多いように感じている。思いを知ることで「日本との違いで面白い」と感じ、憧れをもつことで「違いや個性を知りたい、みんなの文化を知りたい」と感じたりしてほしい。近くの世界語学校や留学生との交流では、相手の国の様々な文化を教わってもらったり、体験したりすることで、世界から見た日本を知ることができ、また、文化には違いがあっても、共通しているものには共通点があると思えることができると考えている。そこで、自分たちが文化に対して興味をもつた、肯定的に関わりあうように、その思いを共有しようとしてほしい。さらには、戸部のまちを日本という国で捉え、長い歴史をもつ文化にも関わらず、新たなまちの個性や個性が受け継がれていることができるを期待している。

(2) 学習材：世界の文化

本単元の学習課題	各単元に大切に扱っている文化とそれを大切にする人々の思い
横濱国際教育学院の留学生	横濱国際教育学院のF先生、K先生
学習対象	まちにある日本文化の場所、その歴史

**学習事項**

- ・戸部のまちには、今まで資料や動画で見た日本の様々な文化がたくさんあること。また、それらを大切に守ろうとしている人々がいること。<地域>
- ・世界中に様々な文化があり、暮らし方や習慣が違っていて、日本とは異なる文化や考え方があふれていること。<文化>
- ・日本にも戸部のまちも大切にしている文化がたくさんあり、文化が暮らしや生活にどう活かされているか、知恵や思いが込められている、長年受け継がれているものや新しく生まれているものがあること。<文化>
- ・まちの歴史はまた、文化を守ったり次の世代に受け継いでいこうという思いをもつて大切に守りながら大切に育てられていること。<キャリア>

(3) 単元目標

世界の様々な文化を知り、仲良く関わりあうという思いの実現に向けて、諸外国の様々な文化を調査・体験したり、日本から日本以外の文化の視点で戸部のまちを見直したりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。

(4) 単元で育てたい資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本にも、他の国にも、各所に存在する様々な文化があり、それらを見直し、大切にしようとする思いをもち、生活する大前提を築く。</li> <li>・地域には、日本ならではの店や日本らしさに触れられる場所が多くあること。&lt;地域&gt;</li> <li>・まちの歴史はまた、文化を守ったり次の世代に受け継いでいこうという思いをもつて大切に守りながら大切に育てられていることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文化を体験する活動を通して、その国が大切にしていることやその国ならではの個性に気づき、魅力を感じようとする。</li> <li>・まちの日本らしさや文化が生活や地域の生活を豊かにし、交流を豊かにし、活動を活気づけようとする。</li> <li>・日本の文化を留学生の方に伝えるために、自分たちから何を伝えるべきか、何を伝えるべきかを話し合ったり、見直しをもつ。</li> <li>・日本独自の文化や地域の日本らしさを伝えるための適切な方法を考え、実践を通して情報や整理して発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文化を体験する活動を通して、その国が大切にしていることやその国ならではの個性に気づき、魅力を感じようとする。</li> <li>・まちの日本らしさや文化が生活や地域の生活を豊かにし、交流を豊かにし、活動を活気づけようとする。</li> <li>・今後は、世界の国々の文化を大切に、興味をもつり、価値をもつるために能力を伸ばし、大切に守る思いをもつ。</li> </ul>

**(5) 単元の学習活動の流れ**

小単元の学習課題・学習活動・期待する変容	【学びどころ】	●関連する教科等
<p><b>I 「戸部のまち」を大切にしたい!</b></p> <p>①自分たちの目指す総合について話し合う。</p> <p>②まちにあるいろいろな国について知りあう活動を通して、自分たちと関わりあう文化や、活動の共通点や違いを探る。</p> <p>③総合では、先輩たちがやったことがない活動に取り組むこと、新しい文化や活動について興味をもつこと、社会で学んだことを活用して、まちをよりよくしようと考える。</p> <p>④「世界」の国々について知りあう活動を通して、日本と世界とのつながりや、日本と世界との違いや個性を知りたいという思いをもつこと。</p>	<p>●「日本は世界のどこにある?」(社会)</p> <p>世界の大陸や主要国、主要国の名前や位置、日本と世界の関係などを学習して日本と世界のつながりを探る。</p> <p>【小単元1の学びどころ】</p> <p>社会科や地理の学習を通して、日本と世界のつながりや、日本と世界との違いや個性を知りたいという思いをもつこと。</p> <p>●「世界の国々について知りた〜!」(音楽 3時間)</p> <p>日本と世界の国々の音楽のよさや、声や楽器の響きの美しさを知り、それらの特徴を味わう。</p> <p>【小単元2の学びどころ】</p> <p>世界の様々な文化を調査したり、体験したりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p> <p>●「日本の伝統と文化の尊重」(道徳科)</p> <p>我が国や郷土の伝統と文化を大切に守り継ぎたいという思いをもつこと。</p> <p>【小単元3の学びどころ】</p> <p>日本らしい文化を体験したり、調べたりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p>	<p>●「日本は世界のどこにある?」(社会)</p> <p>世界の大陸や主要国、主要国の名前や位置、日本と世界の関係などを学習して日本と世界のつながりを探る。</p> <p>●「世界の国々について知りた〜!」(音楽 3時間)</p> <p>日本と世界の国々の音楽のよさや、声や楽器の響きの美しさを知り、それらの特徴を味わう。</p> <p>●「日本の伝統と文化の尊重」(道徳科)</p> <p>我が国や郷土の伝統と文化を大切に守り継ぎたいという思いをもつこと。</p> <p>●「戸部のまちで世界の人とつながろう」(国際 6時間)</p> <p>日本と世界の国々の文化を知り、仲良く関わりあうという思いの実現に向けて、諸外国の様々な文化を調査・体験したり、日本から日本以外の文化の視点で戸部のまちを見直したりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p>
<p><b>II 「世界の国々について知りた〜!」</b></p> <p>①横濱国際教育学院の留学生と交流する活動を立てる。</p> <p>②交流する相手の国について調査資料を活用して調べる。</p> <p>③様々な国の食べ物や習慣、行事、マナーについて体験を通して知り、日本と比べてみる文化や習慣について話し合う。</p> <p>④「世界」の国々について知りあう活動を通して、日本と世界とのつながりや、日本と世界との違いや個性を知りたいという思いをもつこと。</p>	<p>●「日本の伝統と文化の尊重」(道徳科)</p> <p>我が国や郷土の伝統と文化を大切に守り継ぎたいという思いをもつこと。</p> <p>●「戸部のまちで世界の人とつながろう」(国際 6時間)</p> <p>日本と世界の国々の文化を知り、仲良く関わりあうという思いの実現に向けて、諸外国の様々な文化を調査・体験したり、日本から日本以外の文化の視点で戸部のまちを見直したりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p>	<p>●「日本の伝統と文化の尊重」(道徳科)</p> <p>我が国や郷土の伝統と文化を大切に守り継ぎたいという思いをもつこと。</p> <p>●「戸部のまちで世界の人とつながろう」(国際 6時間)</p> <p>日本と世界の国々の文化を知り、仲良く関わりあうという思いの実現に向けて、諸外国の様々な文化を調査・体験したり、日本から日本以外の文化の視点で戸部のまちを見直したりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p>
<p><b>III どうな「日本」をお礼で伝える?</b></p> <p>①「日本」をお礼で伝える活動を立てる。</p> <p>②「日本」をお礼で伝える活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p>	<p>●「日本の伝統と文化の尊重」(道徳科)</p> <p>我が国や郷土の伝統と文化を大切に守り継ぎたいという思いをもつこと。</p> <p>●「戸部のまちで世界の人とつながろう」(国際 6時間)</p> <p>日本と世界の国々の文化を知り、仲良く関わりあうという思いの実現に向けて、諸外国の様々な文化を調査・体験したり、日本から日本以外の文化の視点で戸部のまちを見直したりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p>	<p>●「日本の伝統と文化の尊重」(道徳科)</p> <p>我が国や郷土の伝統と文化を大切に守り継ぎたいという思いをもつこと。</p> <p>●「戸部のまちで世界の人とつながろう」(国際 6時間)</p> <p>日本と世界の国々の文化を知り、仲良く関わりあうという思いの実現に向けて、諸外国の様々な文化を調査・体験したり、日本から日本以外の文化の視点で戸部のまちを見直したりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p>
<p><b>IV 戸部のまちで世界の人とつながろう!</b></p> <p>①日本と世界とのつながりや、日本と世界との違いや個性を知りたいという思いをもつこと。</p> <p>②交流する相手と戸部世界マップを用いて、戸部まちマップを用いて、交流を行う。</p> <p>③「世界」の国々について知りあう活動を通して、日本と世界とのつながりや、日本と世界との違いや個性を知りたいという思いをもつこと。</p>	<p>●「日本の伝統と文化の尊重」(道徳科)</p> <p>我が国や郷土の伝統と文化を大切に守り継ぎたいという思いをもつこと。</p> <p>●「戸部のまちで世界の人とつながろう」(国際 6時間)</p> <p>日本と世界の国々の文化を知り、仲良く関わりあうという思いの実現に向けて、諸外国の様々な文化を調査・体験したり、日本から日本以外の文化の視点で戸部のまちを見直したりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p>	<p>●「日本の伝統と文化の尊重」(道徳科)</p> <p>我が国や郷土の伝統と文化を大切に守り継ぎたいという思いをもつこと。</p> <p>●「戸部のまちで世界の人とつながろう」(国際 6時間)</p> <p>日本と世界の国々の文化を知り、仲良く関わりあうという思いの実現に向けて、諸外国の様々な文化を調査・体験したり、日本から日本以外の文化の視点で戸部のまちを見直したりする活動を通して、改めて世界の多様な文化や日本独自の文化の豊かさに気づき、今まで大切にされてきた日本の文化をこれからは大切に守り継ぎたいという思いをもち、自分自身で大切にできることを考え、行動しようとする。</p>

## 2 小単元構想

単元構想で整理した「学びどころ」を核とした、探究の一つ一つの過程について、その時点での子どもの問題意識をもとに、小単元の学習課題を設定し、「課題をもつ」「追究する」「振り返る」の三段階で、入り口と出口を明確にして構想を立て、それぞれの過程で身に付けさせたい資質・能力を、教科等との関連も意識しながら整理する。

同一の学習材で1年間継続して単元を展開しようとする、年度当初の単元構想では70時間の全ての授業を細かく計画することは難しい。1年間という長い期間で単元を見ていると、子ども自身がその時々問題意識や興味・関心を大切にするあまり、最終的な目的まで辿り着かずに終わってしまうこともある(意図的に計画を変更することはもちろんある)。逆に、最初に立てた計画に固執して

しまい、子どもの学習活動や思考の流れを無視して単元を展開してしまうような状況も起きかねない。そのようなことを避けるためにも重要なのは、子ども自身が「今、何のために、何をしているのか」ということを自覚していることであり、その子どもの姿を入り口として、学びどころに対してどのようにアプローチしていくのか、ということを確認する意味で、小単元構想が極めて重要であると考えている。

### (1) 小単元目標

基本的な考え方は単元目標と同じであるが、年間を見通した単元全体よりも短いスパンを対象として整理することから、課題がより具体的なものになり、育てたい資質・能力については、思考力、判断力、表現力等をより意識した形で整理することが重要である。

### (2) 見取りの視点と手立て

小単元の探究の過程を「課題をもつ」「追究する」「振り返る」の三つの過程で整理する。その意図は、単元の入り口と出口を明確にする、ということにある。「～したい」「～しよう」という単元の課題が入り口であれば、出口の振り返りの視点は「～できたのか」ということになり、その検証を行うことになる。あるいは「～とは何か」という入り口であれば、出口は「～とは〇〇である」という結論が導き出されなければならない。場合によっては「～できたとはまだ言えないけれど、そのためには～が大事そうだ」「～とは〇〇と言えそうだけれども、まだはっきりしないから、次は～する必要がある」という形になることも考えられる。

このようにして入り口と出口を明確にすることで、そのプロセスについて具体的に考えることが可能になり、1時間の授業づくりを確かなものにしていくことにつながっていく。また、前後の小単元とのつながりを明確にすることができ、単元全体の中での位置付けが明確になる。

- ・見取りの視点…小単元の流れを意識し、「夢をもち、夢を実現する子ども（系統表）」を拠り所としながら、できるだけ具体的に期待する子どもの姿をイメージする（「できている」「できていない」を判断できるように意識する）。
- ・手立て…主語を教師にすることを意識し、具体的に何をすることが分かるようにする。
- ・関連する教科等…「表やグラフを用いて表現する」等の情報活用能力や「相手や場面に応じた適切な表現方法を工夫して文章にまとめる」等の言語能力、「ベン図を使って分析する」等の考えるための技法等について、具体的に学習活動の流れを組み立てて意識し、整理する。

### (3) 小単元の学習活動の流れ

基本的な考え方は単元の学習活動の流れと同じであるが、特に意識したいのは、最終的な子どもの姿が本小単元の課題に応じたものになっていること、そして、次の小単元の課題につながるものになっていることである。さらに、その間の一つ一つの課題を見て、意味的なつながりを読み取ることができるよう学習活動が組み立てられていることが重要である。

- ・本小単元に臨む子どもの姿…小単元の入り口までの経緯を振り返り、教師自身が小単元の課題やその意図を自覚する。それによって小単元の学習活動の流れを、前小単元から意味のあるつながりのあるものにしていく。
- ・本小単元の学びどころ…単元構想と同じ。単元構想時よりも具体的な子どもの姿が見える段階なので、「期待する変容」については教師の意図を明確にして書くことも考えられる。
- ・本小単元のしかけ…学びどころを生み出すための教師の手立て。子どもの物事に対する捉えが置き換わったり、深まったりするように、新たな事実と出会うための学習活動の準備をしたり、収集した情報を適切に分析できるようにしたりすること等が考えられる。しかけが子どもにとって前後の学習活動とつながりの無い唐突なものにならないようにすることが重要である。

#### 【小単元構想のチェックポイント】

- 見取りの視点が具体的な姿として分析されているか。
- 「夢をもち、夢を実現する子ども（系統表）」が網羅されているか。また、その内容として妥当か。
- 手立てが、見取りの視点に沿って、教師の具体的な行為として明確になっているか。
- 学習の基盤となる資質・能力を中心とした視点から、関連する教科等の学習活動が具体的にになっているか。
- 「本小単元に臨む子どもの姿」が、それまでの学習活動や地域・家庭・学校での実生活に基づいて、どのような思いをもって、本小単元に臨んでいるのか、具体的に分析されているか。
- 小単元の入り口（＝小単元の課題）と、小単元の出口（＝学習課題を追究した結果）が対応しているか。また、次の小単元へのつながりが見えるものになっているか。
- 一つ一つの学習課題が、子どもの思考や学習活動の流れに沿っているか。また、意味的なつながりがあるか。
- 期待する変容が、見取りの視点をもとに、焦点化されて記述されているか。



2 小単元構想		Ⅲ どんな“日本”をお礼で伝える？ (全26時間)	
(1) 小単元目標			
「これまでの活動のお礼として学生に伝える日本について、改めて自分たちもきちんと知りた」という思いの実現に向けて、戸部のまちの店や公共施設を訪れたり体験したりする活動を通して、多様な日本の文化についての情報を他者との共通点や差異の観点で整理・分析する力を身に付けるとともに、戸部のまちは日本らしさや日本のよさを大切にしている場所がたくさんあることや大切に守っていることとするあたりに思いが込められていることに気づき、自分も日本や戸部のまちな文化を大切にしていきたいとする。			
(2) 見取りの視点と手立て			
課題を 追完する	見取りの視点	見取りの視点	○手立て ●関連する教科等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な国の人と交流を断る。たくさん知らなかった文化を教えてもらったお礼に日本の上を調べて伝えたいという意欲を高める。 &lt;思い・願い&gt;</li> <li>留学生は日本のどんなことを知りたかと思っているのか、K先生にメールを送り、現状を把握する。 &lt;課題の把握&gt;</li> <li>深く知り、理解するためには、本で調べるだけでなく、まちにある“日本”を体験的に調べたりインタビューしたりするとともに、集めた、活動の計画を立てる。 &lt;課題の把握&gt;</li> <li>まち探検を行い、戸部のまちな“日本”を知ったり体験できたりする相手について情報を集める。 &lt;情報の収集、協働&gt;</li> <li>留学生にどんなお店や施設を伝えたいか話し合いを行い、大事にしたい視点を明らかにする。 &lt;整理・分析、対話&gt;</li> <li>大切にしたい視点をもちに交流や体験ができることを調べ、文化的価値や世界の人に加えてほしいことなどについてさらに情報を集める。 &lt;情報の収集、対話&gt;</li> <li>調べたり体験したりしたことなどを留学生に伝える。 &lt;整理・分析、対話&gt;</li> <li>相手の学生との交流の方法や目的を考え、どんな方法で伝えるか決める。 &lt;まとめ・表現&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの様々な国の友がたくさんいることを教えたことなどを実感できるように、関わってくださった方々の写真や話し合ってきたことについて紹介しておく。</li> <li>○活動の内容や意図を明らかにして、互いにわかるように、事前にK先生と連絡を取り、説明しておく。</li> <li>●活動の順番やつながりが分かるように、とまどいを見通しをしながら活用したステップチャートを用いて活動の計画を立てる。(特別活動)</li> <li>○事前に打ち合わせを行い、店主の思いを聞いて子どもに気づかせるポイントを把握したりしておく。</li> <li>○活動の流れや目的を意識してインタビューや体験できるように、時間や活動のはじめの自分たちの思いを明示しておく。</li> <li>●インタビューを想起し、相手についての基本情報をもとにそこから話を広げたり、聞いた言葉や言葉からさらに派生して聞いたりする。(国語)</li> <li>○日本文化区分のようには、学校図書館や中央図書館で関連資料を集めておく。</li> <li>○活動のはじめの思いを振り返ることができるよう、小単元の始まりに話し合ったことを分かるような掲示物を残しておく。</li> <li>●「来作りにはげな人々」で農家の悩み解決方法を考えた学習を想起し、自分が伝えたい情報の視点だけでなく相手にとって必要や意味のある視点を準備できるように、ボックスチャートを用いる。(社会)</li> <li>○自分たちの日本に対するイメージが変容していることに気づくように、教えたことも様々な日本の文化を写真などで確認できるようにしておく。</li> <li>○自分たちが知って面白いと感じた視点をもちに全体的に話し合えるように、振り返る時間を設定する。</li> </ul>
振り返る	見取りの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>「戸部のまちな日本」の視点で整理された情報を見直し、自分たちがこれから大切にしたい日本の文化について、自分たちの生活と関連させながら地図を通して調べる。 &lt;整理・分析&gt;</li> <li>「戸部のまちな日本」の視点で整理された情報を見直し、自分たちがこれから大切にしたい日本の文化について、自分たちの生活と関連させながら地図を通して調べる。 &lt;整理・分析&gt;</li> <li>日本について知らないことがたくさんあることや改めて知ることがたくさんあることに気づき、協力し合ってきたまちな存在の大切さを改めて実感し、 &lt;思い・願い、課題の把握&gt;</li> <li>これまで交流した留学生に、戸部のまちな日本文化の面白さについて知ってもらいたいという意欲を高める。 &lt;思い・願い、課題の把握&gt;</li> </ul>	

(3) 小単元の学習活動の流れ		[学習目標]・[学習活動]・[期待する変容]	[学びどころ]
Ⅲ どんな“日本”をお礼で伝える？ ⑤			
どんな“日本”をお礼で伝える？ ⑥			
<p>どんな日本について知りたいのか、日本に来た人の視点からも考え、そのために必要となることについて計画を立てる。</p> <p>家族が教えたもらった4つの視点で、日本について本で調べたり、体験したりして伝えたいと思う。</p> <p>相手の留学生が嬉しいことじゃないとお礼とは言えないと思うから、どんなことを知れたら嬉しいのか聞いてみたい。</p> <p>K先生から「日本」は結構詳しい。生活をしているまちなことを教えてほしい」とコメントもらった。「戸部のまちな日本」を調べるには、本で調べるよりも、実際にまちな行って聞いたり調べたりしたい。</p>			
⑦			
<p>戸部のまちな日本」について調べたり教えてもらったりする場所や相手について調べ、詳しい活動計画を立てる。</p> <p>和菓子の店、日本以外にもあるのか。</p> <p>和菓子の店、日本以外にもあるのか。職人としての思いも聞いてみたい。</p> <p>交流した中国のRさんが「日本でもおやつを食べますか」と聞いてくれた。日本のおやつを想像してから話を聞いたら、遠く離れたから、似ているけど違うことを伝えたい。</p> <p>戸部山公園は、花見や祭りが行われたり紅葉を見たりして、ほくほくと季節を感じる場所。日本の季節が4つあるのは他の国とは違うところだと思ふから、大切にしたい。</p> <p>そばやうどんのことは、日本食について調べた学生は知っているかもしれない。でも、うどん屋の店主さんの思いは知らないと思うから教えた。</p>			
⑧			
<p>施設や家でインタビューしたり体験したりして、世界の人に伝えたい日本の文化や店主の思いについて、情報を集める。</p> <p>松島船の店主さんは、お風呂でのコミュニケーションを楽しんでほしいと言っていた。マナーが分からないのは当たり前だから、多くの人に楽しんでもらうために伝えて伝えてほしいんだね。日本語で書くを難しくから、絵にするの分かりやすいのかな。</p> <p>田邊さんの職人としての思いは熱いね。日本の文化をこれから大切にしたいって思っていたね。華道は色々な種類の着物を着る文化に変わってきているんだね。</p> <p>戸部のまちな日本、日本を知ることができる店や施設がたくさんあるね。すごいね。意外と自分たちが知らない日本の文化がたくさん体験できるまちな日本だ。</p> <p>お出立は、すごく美味い感じがした。日本の料理は、欠かさないということがよく分かった。</p> <p>お礼で伝える「戸部のまちな日本」の内容や方法を決める。</p> <p>K先生に見てもらって、もっと暮らしの中の日本の体験やマナーのことも伝えたい。地図の裏は、日本のミニ情報載せていたら日本のことよく知ってもらえそうだね。</p> <p>情報集める人は少ししかいないから、紹介文や絵も入れた。地図のうしろのところに載せるものにしてほしい。絵は、銀魚の入り方とかも載せたら役立ててもらえる地図になる。色々な国について教えてくれた留学生にまた案内をして、今度は日本のことや戸部のまちなことを知ってもらいたい。</p>			
Ⅳ 戸部のまちな世界の人とつながろう ⑨			
		○本小単元に臨む子どもの姿	【世界の人とたくさん関わって色々な文化を知りたい】(交流した相手の人と仲良くになりたい)という思いから、横浜国際教育学院に通う留学生や、JCOAのプロジェクトでの交流を通して日本とは違う文化がたくさんあることに気づいた。
		○期待する変容	【小単元Ⅲの学びどころ】
		○本小単元のしかけ	戸部のまちな文化を伝統として受け継ぎ、引き継ぎたいという思いをもって仕事に取り組んでいる店主たちが多くいることに気づく。
			<キャリア>
			交流した留学生やK先生の言葉を想起し、留学生に日本について紹介する場を設定する。その中で、まちな情報を伝えるだけではなく、職人としての思いや大切にしていることを聞く時間を設定する。

### 3 授業づくり

前時までの子どもの学びの様子を見取り、小単元構想で設定した見取りの視点と照らし合わせながら本時目標を設定し、その目標に迫るために、1時間の核となる子どもの学びを生み出すための教師のはたらきかけ(=本時のしかけ)を考え、その教師の意図を「本時の学びどころ」として整理し、1時間の授業の計画を立てる。

単元構想・小単元構想は、教師自身が協働的に、時間をかけて考えることができる。一方、授業は、目の前の子どもの学びの様子を見取り、その場で判断しなければならない。また、単元構想・小単元構想がいくら優れていても、子どもと一緒に学習活動を展開していく現場である、授業が適切に行われなければ、子どもの夢は実現されず、育てたい資質・能力も身につけられない。研究主題を具現化していくためには、授業づくりが極めて重要であると言える。

もちろん単元構想・小単元構想を軽んじているということではない。それらを土台とし、意図的に授業の計画を立て、複線的に準備を行うことで、目の前の子どもにとって1時間の授業を意味のあるものにしていくことができ、さらに、その授業をもとに、小単元や単元の展開を見直していくことができるのである。

#### (1) 本時目標

小単元構想の見取りの視点をもとに育てたい資質・単力を意識し、前時までの子どもの学習活動や思考の流れに沿ったものになるように設定する。さらに、本時目標がそもそも単元や小単元の中でどのような意味があるものなのか、俯瞰して把握していることが重要である。それによって授業の中で見取りをもとに授業展開を判断することが可能になる。

#### (2) 本時に向かう子どもの実態

学習カードや活動の様子をもとに、見取った内容を具体的に記述する。総合においては全体を俯瞰し、本時の課題に対する全体的な傾向や、そのまわりやつながり、核となる意見等を捉えることが重要である。生活科においては、一人一人の子どもの学習材とどのように関わっているか、個々の実態を捉え、それぞれに対してどのような変容を期待し、どのように教師が関わっていくかを考えることが求められる。

#### (3) 本時の学びどころ

単元の学びどころは、毎時間表れるものではないが、単元の全ての時間が学びどころにつながっていく重要な意味をもっている。70時間のうちの数時間の学びどころを意識するのではなく、意図

的、計画的な1時間1時間の積み重ねとしての70時間の単元、という捉え方こそが単元の充実につながると考えている。そのためにも本時の学びどころを整理して授業に臨むことが欠かせない。

- ・ 座席表による分析…学級の状況について、本時目標と照らし合わせながら、よさや課題を分析する。
- ・ 本時のしかけ…座席表による分析をもとに、本時目標に掲げた目指す子どもの姿に迫るために特に重要となる学習活動の一場面を明確にもち、そのような学習活動を生み出すための手立てを考える。本時目標のどこに重点を置いた1時間の授業になるかを意識し、本時目標を引用してその部分に下線を引く。

### (4) 本時の展開

前時までの学習活動の流れの中で生まれた、子ども自身の言葉で整理された本時の課題(入り口)と、1時間の授業を通して目指す子どもの姿(出口)を明確にもち、そのプロセスを整理する。その際には、考えるための技法を意識し、拡散する場面か、収束する場面か、比較する場面か、関連付ける場面か…等の子どもの思考の流れや組立てが見えるような整理の仕方(板書の在り方)や、そのような思考を行う学習形態(個・グループ・全体)、また、学習を深めるための教師の発問等を意識する。

#### 【授業づくりのチェックポイント】

- 本時に向かう子どもの姿が、教師の意図を反映させ過ぎることなく客観的に捉えたものになっているか。
- 座席表による分析が、本時目標に照らし合わせて分析されているか。また、学級全体と個々の両面から分析されているか。
- 本時のしかけが、本時目標の中のどの部分を目指すものかが明らかになっているか。また、子どもにとって自然で無理の無いものになっているか。
- 本時課題が明確になっているか、また、妥当か。
- 子どもは本時に向けてどんな思いをもっているのか、何をしたいのか、ということが正しく捉えられているか。また、子どもが本気で話し合ったり、取り組んだりしたいことになっているか。
- 子どもの思考や学習活動が具体的に想定されているか。
  - ・ 内容：分類、選択、対立、原因と結果、事実と感想のつながり、項目に対する評価等
  - ・ 形式：座標軸、表、矢印による関連付け、色による分類等
  - ・ 集団：個(ワークシート等)、グループ(ホワイトボード等)、学級全体(黒板等)
- 場の設定、提示する資料、取り上げたい発言等、多様な視点から手立てが考えられているか。
- 座席表による分析等をもとに、授業展開が複線的に考えられているか、また、それぞれの状況に応じた多様な手立てが考えられているか。

5年2組 戸部まちで世界の人とならう

3 本時の学習 (6/23時)

(1) 本時目標

日本と中国に通じる中国の留学生との交流を通して分かった中国の文化について話し合う活動を通して、日本の文化と比較しながら整理・分析し、交流した人の関わり方を振り返ることで、相手が答えやすい質問の仕方や話し方に気を付けて交流しようという意識を育む。

(2) 本時に向かう子どもの姿(留学生との交流を通して分かった中国の文化についておもしろいと思ったこと)

観察対象領域	交流・相関する領域	知	感
1	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
2	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
3	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
4	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
5	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
6	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
7	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
8	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
9	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
10	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
11	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
12	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
13	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
14	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
15	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
16	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
17	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
18	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
19	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
20	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
21	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
22	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
23	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
24	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
25	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
26	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
27	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
28	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
29	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること
30	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること	中国語を話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること、中国の文化について話せること

(3) 本時の学びどころ

＜座席表による分析＞  
交流を振り返り、教えてもらった席で振り返ることについて日本の文化と比べて記述しているが、交流の仕方や相手の聞き方について振り返っている児童は少ない。

＜本時のしかけ＞  
相手が答えやすい質問の仕方や話し方に気を付けて交流しようという意識をもつことができるように、分らない事があった時の質問の仕方について発言した児童を取り上げ、関わり方について問い返す。

本時目標

(4) 本時の展開

予想される子どもの活動と反応

★評価規準 ★手だて

＜前時まで＞ 横浜国際教育学院の中国の留学生と交流し、スポーツや遊び、食べ物などについて教えてもらったことがあったことをまとめている。

4人の中国の方と交流して分かった「おもしろいな」と思ったことはどんなこと？

① 交流して分かった中国の文化について話し合う。

【遊び・スポーツ】  
・ 知らなかったとびごりをつかむという遊びを教わった。  
・ 中国では車庫が狭い、日本は広いから驚かされた。小学校の体育で学ばず、みんな大好き。  
・ じゃんけんのパイは布の意味。

【食べ物】  
・ 教わって食べてもらったマールータンは、辛いけどおいしい。  
・ 中国の人は辛い物を小さい頃からたくさん食べている。  
・ 料理を入れる器が重要。

【行事】  
・ ドラゴンレースは、端午節という祭りで行われる。  
・ 年越しをする時に雑子を食べる。  
・ 中秋節というのが大きなお祭りのひとつ。たかさんの大きなうちを飾る。  
・ 満月を家族で見るとお祭り。

【マナー】  
・ 主席の人が主業を決める。  
・ 立場が上の人がとるまで、善をつけるれない。  
・ 円卓は、みんなからの距離が等しいから、平等を表している。

【日本はあまり厳しくないけど、中国ではマナーがすごく多くて覚悟が必要だ。】

② 交流の仕方について考えている児童の発言を取り上げ、どんな話し方や伝え方をすると、相手の事を知れるのかを話し合う。

発問：すごくたかさんの事を準備してきていて、初めてのことでもたかさん知れたし、とても嬉しかったね。どんな話し方をするといいんだろうね。

③ 留学生との交流を振り返り、今後の交流に対して考えをまとめる。

【相手は聞きたくなくても、言いたい事が伝わってすこいと思った。自分が見て伝える事や表情で伝える事は、普段自分が話をする時と同じだったから、交流する時に大切にしたい。】  
【言葉が難しいと思ったら、違う言葉で言い換えることでもあったから、自分の言葉が伝わらないっていい。】  
【おもしろいなと思った。】  
【おもしろいなと思った。】  
【おもしろいなと思った。】

＜次時＞ ペトナムの留学生との交流を想定し、どんなことを調べおくといい、どんな交流の仕方がいかに話し合い、準備を行う。

★手だて  
☆自分達が知りたいと思うことをもたらした4つのテーマで板書を整理する。  
☆活動中の様子が見えるように、必要な写真を提示できるようにしておく。  
☆初めての交流で感じたことも板書に残しておく。  
☆中国と日本の比較が見やすいように表の上下で分けて板書しておく。  
☆たかさんの文化について知る交流のとまらず、日本との違いについて発言した感想を取り上げる。  
☆言葉が上手く伝わらないなと思った時に工夫した事をグループで振り返る時間を設ける。  
☆必要があれば、話す時のコツについておぼえてくれる、K先生からもらったメールを読み直すよう声をかける。

★相手が答えやすい質問の仕方や話し方について工夫すると、相手の関心をより深く知ることにつながるから活動でも話し方や聞き方について意識して交流しようと思感を高める。  
【発言・学習カード】